

教育の目標

農村伝道神学校は農村・地方教会に仕える伝道者の養成を目指しています。

(1) 「農」にかかわる

農村という場と農村への宣教を見据えての神学教育です。これはまた、「農」の営みによっていのちを育む大地にかかわり、いのちと食、さらに生態の保全を課題とします。さらに、貧困・差別・人権などを「農」の視点から派生してくる宣教の課題としています。

大切なことは「農」という現場から離れないことです。わたしたちは理念を確立し、そこから現実に向かうのでなく、農村を含む地域社会との対話のなかで、そこで問題や課題を共有しながら神学教育を行っています。

(2) 戦争責任

戦争責任を明確にし、神学教育を沖縄、アジアの人々と教会との対話のなかで推し進めています。特に、かつて植民地とした国々の人々との出会いを大切にしつつ神学教育をします。

(3) 大地、共同性

「農」にこだわるなかで出会う現場と諸課題、人々との対話のなかで神学をおこないます。農業実習と共同生活を大切にし、大地に親しみ、共同性を持つつ神学をしていきます。

(4) 日本基督教団認可神学校として日本基督教団の宣教に参与し、さらに他教派にも開かれ、エキュメニカルな神学校を目指しています。



教育課程

カリキュラム改定（2016年度より）

宣教の学としての農の神学

農村伝道神学校の神学教育の核心は、イエス・キリストのアリティーを伝え、かつそれを生きる「宣教の学としての農の神学」です。「農の神学」のテーマは「農と食といのち」です。農村伝道神学校の神学教育は「いのち」を生かす宣教の働きを担う宣教者を養成します。

神学教育の三要素

『社会的感性の養い』としての現場実習の重視。
『キリスト教的知性の養い』としての座学の充実。
『宗教的靈性の養い』としての「黙想」の実践。

神学基礎コースと神学専門コース

- 神学基礎コース：2年間（2年間で終了します）。基礎コース修了後、神学専門コースに進むことができる。
- 神学専門教職者養成コース：2年間
- 神学専門信徒宣教者養成コース：1年間または2年間

4年間の修業年限を2年ずつ神学基礎コースと神学専門コースに分けます。神学専門コースは教職者養成コースと信徒宣教者養成コースに分けられ、基礎コース修了後、いずれかのコースを選択できます。信徒宣教者養成コースは1年間と2年間のコースが選択可能です。コース間の中途移行もできます。

信徒宣教者養成コースでは信徒の宣教力を養成します。今日、とりわけ地方教会の切実な課題は、一教会に一人の牧師を迎えることが困難な状況がある中、複数教会を兼牧する牧師と協力し、牧師の働きを支え、礼拝説教をも担当し得る信徒の礼拝リーダー、牧会活動や幅広い宣教活動を担うリーダーなど、十分なカリキュラムに基づく神学教育を受けた信徒の宣教力を養成します。

スタッフ（2022年度）

教師

平良愛香 校長 解放講座C「性差別問題講座」

有住 航 實践神学特講 I・II

池迫直人 農村伝道論、農業実習、

石井智恵美 コミュニティーアーク

瀬戸英治 靈性とキリスト教倫理 I・II

高田良実 日本基督教団史、教憲教規、事務長兼務

沼田弘行 カウンセラー

沼田弘行 コミュニティーアーク担当

講師（2022年度、五十音順）

赤城海	新約聖書概論、新約聖書釈義
飯郷友康	旧約神学特講
石田真弓	牧会心理学
大西秀樹	牧会心理学
川浦弥生	牧会心理学
小海基	教会音楽
酒井薰	説教学、説教演習
佐藤研	禅キリスト教入門「接心」
三宮千枝	オルガン
島しづ子	解放講座D「障がい者問題」
杉山弘	近現代日本史II
高柳富夫	旧約聖書概論、旧約聖書釈義、ヘブライ語文法、旧約原典
滝沢貢	キリスト教概論
橋耕太	古代中世教会史
鄭芝永	ハングル
林巖雄	組織神学入門
比企敦子	キリスト教教育
汀なるみ	寿現場実習
安田真由子	新約神学特講
吉田忍	ギリシャ語文法、新約原典、英書講読

